

○ 委員長報告

1 2月定例会本会議で報告されたスポーツ文教警察委員長報告は、以下のとおりです。

令和2年1 2月定例会

スポーツ文教警察委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、四国遍路の世界遺産登録に向けた取組状況についてであります。

このことについて一部の委員から、世界遺産登録に向けた取組みと今後の課題はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、四国4県及び関係市町村等が連携し、登録の前提となる国の暫定一覧表への記載を目指した取組みを進めている。このような中、先月、国から今年度末を目途に文化遺産の今後の在り方を議論し、暫定一覧表の見直しも検討する方針が示されたことから、この機会を捉え、国への働きかけを行うほか、本県独自で歴史文化博物館での四国遍路展や遍路道ウォーキングイベントを開催するなど一層の機運醸成を図ることとしている。

また、文化庁から示されている構成資産の保護措置と顕著な普遍的価値の証明という2つの課題については、現在、博物館や大学等の専門家の協力も得て、解決に向けスピード感を持って計画的に取り組んでいる旨の答弁がありました。

第2点は、県立学校の振興計画策定に向けた取組状況についてであります。

このことについて一部の委員から、協議内容や今後のスケジュールはどうか。また、多くの人の意見を聞きながら進めてほしいがどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、学識経験者や県外有識者等で構成する検討委員会では、小規模校の在り方、地域の強みの活用、ICT教育の推進、地元市町との連携等について意見があった。また、行政、住民、教育関係者で構成する地域協議会を8地区で開催したところ、各高校の特色を小中学生に伝える重要性、地場産業に直結する学校の存続、学校統合によるより良い学校づくり等について意見があった。

今後は、令和4年度末の計画公表、5年度からの計画の実施に向け、引き続き、検討委員会及び地域協議会での協議内容を踏まえながら、魅力ある学校づくりと連動した計画策定に取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第3点は、警察官の採用への影響についてであります。

このことについて一部の委員から、コロナ禍における採用試験の実施状況と新たな取組みはどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、今年の警察官の採用は例年並みの110人程度を予定しており、申込者数については、大卒は前年と同数であるが、高校卒程度は367人と前年に比べ48人増加している。

県警では新たな取組みとして、オンラインでの採用説明会、個別相談会、事件の疑似捜査体験のワークショップを開催したほか、最近では、オンライン内定式等を行っている。

このような取組みにより、就職活動生の不安や疑問の解消のほか、遠隔地在住のUターンを考えている学生の勧誘に成功するなど、大きな手ごたえを感じており、今後とも、優秀な人材を確保できるよう努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・スポーツ関連企業との包括連携協定
- ・今年度のスポーツイベント等の実施状況と今後の取組み
- ・感染警戒期における学校の感染症対策
- ・教職員のメンタルヘルス対策
- ・横断歩道止まろうキャンペーンの実施状況
- ・外国人技能実習生の失踪等

などについても、論議があったことを付言いたします。

最後に、請願について申し上げます。

当委員会に付託されました請願1件については、願意を満たすことができないとして、不採択と決定いたしました。

以上で報告を終わります。